

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

新型コロナウイルス感染症を踏まえた 避難所運営等について

- 資料 1 新型コロナウイルス感染症を踏まえた
避難所運営等について
- 資料 2 災害時の避難所運営に関する新型コロナ
ウイルス感染症対策マニュアル
- 資料 3 災害時の避難所運営に関する新型コロナ
ウイルス感染症対策マニュアル 新旧対照表
- 参考資料 1 新型コロナウイルス感染症を考慮した
避難所運営の必要人員について
- 参考資料 2 新型コロナウイルス感染症を考慮した
風水害時等の避難所想定収容人数

令和 2 年 1 0 月 2 9 日

総 務 企 画 局

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営等について

1 災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策マニュアルver.0.1の策定

新型コロナウイルス感染症が流行し、その全容が分からない中、避難所運営におけるマニュアル策定の必要性は認識しておりましたが、4月18日の大雨に伴う避難所開設準備をしたことを契機として、本格的な策定作業に取り組みました。他都市との情報共有や専門家等の意見を踏まえ、避難所での感染リスク軽減を主眼として、マスク着用等感染症対策の基本のほか、受付での検温や症状に応じた専用スペースの振り分け等を盛り込み、暫定的ではありましたが、避難所運営にあたる職員向けマニュアルとして、「災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策マニュアルver.0.1」を6月30日に策定しました。

また、市民の皆様向けに「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営について」として、7月7日に市ホームページで公表しました。

2 感染症対策マニュアルver.0.1に基づく、訓練、研修等

実効性のある運用のためには、訓練等に基づく検証やブラッシュアップが必要であり、感染症対策が追加されたことによる避難所運営の複雑化も予想されており、避難所開設訓練や職員研修などを実施いたしました。

(1) 避難所開設訓練

	場所	参加人数	訓練内容	課題・確認
6/24	幸区 東小倉小学校 体育館	約40人	<ul style="list-style-type: none"> 受付、避難スペース・動線の設営 受付での避難者の振り分け 避難者の急変時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 避難者の体調が急変した場合の対処方法に苦慮した ⇒区本部に医療従事者等の位置付けが必要（課題）
8/4	多摩区 中野島小学校 ※地域との協働	約80人	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄物資の搬送 受付設営、案内表示の掲示 受付での避難者の振り分け 地域住民参加型避難所ツアー 	<ul style="list-style-type: none"> 専用スペース等レイアウトについて確認した。 ⇒専用スペースのイメージ共有（確認） フェイスシールド等感染症対策物資の活用手順を確認した。 ⇒装備手順の重要性を認識（確認） 消毒液や掲示物等の使用方法について確認した。 ⇒適切な場所への設置が有効（確認）
8/31	川崎区 殿町小学校 体育館・正面玄関	約80人	<ul style="list-style-type: none"> 受付設営 受付での避難者の振り分け ※東小倉小学校訓練の課題を踏まえ、避難者数や想定を大幅に増やした。	<ul style="list-style-type: none"> 避難者の症状による避難スペースへの振り分け判断が担当者により異なる場合があった。 ⇒統一判断基準が必要（課題）

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営等について

(2) 研修

ア 職員向け研修

7/20、21、8/3、4、6（全18回） 避難所運営支援要員等約500人

(研修内容)

「災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策マニュアルver.0.1」の概要
新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識、感染症を踏まえた避難所開設ワークショップ

(参加者アンケート)

- ・避難所運営に関すること（机上ではなく避難所での実地研修があると実践的なものとして身につく等）
- ・感染症対策に関すること（リスクを明確にしたコロナ対策等感染防止、避難所運営に特化した研修の要望等）

イ 自主防災組織リーダー等養成研修

8/7川崎区（参加者77人）、8/21宮前区（49人）、9/2高津区（50人）、9/16中原区（65人）

※ 10/30多摩区、11/12幸区、11/20麻生区

(研修内容)

「災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策マニュアルver.0.1」の概要

(3) 自宅療養者及び濃厚接触者に関する個人情報の共有等対応訓練

(訓練期間) 9/4～9/18

(訓練想定) 太平洋沖でスーパー台風が発生、3日後に関東地方に直撃する可能性があることから、

区役所では避難所開設への準備のほか、自宅療養者等へ避難の必要性について事前連絡することとした。

(訓練内容) 区危機管理担当及び区衛生課が連携して、自宅療養者及び濃厚接触者の個人情報をもとに、ハザードリスクを確認し、避難が必要な該当者を抽出する訓練を行った。

※ 9/23台風第12号、10/8台風第14号（土砂災害警戒区域）においても実施

3 「災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」の策定

資料2、3参照

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営等について

4 今後の取組

- 避難所開設訓練の実施
1 1月8日 川崎市総合防災訓練（中原区宮内中学校）
各区総合防災訓練の実施に向けて調整（予定）
- 避難所運営に関して、自主防災組織等地域住民への周知
HP、自主防災組織リーダー等養成研修
- 洪水ハザードマップ等の周知と活用方法の啓発
自宅が浸水区域に含まれているのか否かを市民一人ひとりに認識してもらうため、洪水ハザードマップ説明会・防災出前講座等の啓発活動を引き続き実施するとともに、マイタイムラインの作成等を通じて、御自身のハザードやリスクを把握していただく取組及び啓発を進めていきます。
- 適切な避難行動の周知
分散避難及び浸水深や浸水継続時間に応じた、屋内避難、垂直避難、避難所への避難等の適切な避難方法について、広報を実施していきます（平時：HP、パンフレット等、災害時：HP、メール等）
- 緊急避難場所の拡充等
他の公共施設や避難所補完施設等を活用し柔軟に対応するとともに、県立高校の洪水時の緊急避難場所としての利用に向けた調整を進めていきます。また、広域的な避難も含めた柔軟なオペレーションについても、検討してまいります。



高津区リーダー等養成研修



多摩区防災出前講座